

候補地の比較評価基準

比較評価項目					
評価の指標			評価の考え方	7段階評価の基準	備 考
大項目	中項目	小項目			
環境への影響度	生活環境	住宅の近接状況	住宅地からの近接状況について、候補地区周辺の住宅地の立地状況を評価した。	7点 候補地の周辺に住宅地は少ない。 6点 候補地周辺の1方位に住宅地が点在する。 5点 候補地周辺の2方位に住宅地が点在する。 4点 候補地周辺の3方位に住宅地が点在する。 3点 候補地の周辺を取り囲むように住宅地が存在する。 2点 1点	
		道路交通への影響	施設の立地による周辺の主要道路における混雑度及び将来の増加率を評価した。	「道路交通への影響による比較評価」を参照 (参考資料-1)	
		施設配置の制約	候補地形状・面積及び周辺の土地利用状況より、候補地内における施設配置に当たっての制約の有無を評価した。	7点 候補地形状・面積及び周辺状況より、施設配置上の制約が少ない。 6点 候補地形状・面積及び周辺状況より、施設配置に一定の制約がある。 5点 候補地形状・面積及び周辺状況より、施設配置上の制約が多い。 4点 3点 2点 1点	3、4、5点の範囲で評価する
		市民持込の利便性	市民のごみ持込の利便性は、持込の距離に比例すると想定される。このため、収集運搬コストにより、相対的な市街からの距離が短くなる候補地区を優れていると評価した。 ※収集運搬コストの比は、最小で1.14、最大で1.58であるため、0.2きざみで右記の区分とした。	収集運搬コストが、最小となる都跡校区との相対比率より、 7点 1.27倍以下 6点 1.28～1.48倍 5点 1.49倍以上 4点 3点 2点 1点	3、4、5点の範囲で評価する
	自然環境	用途指定の状況	農振農用地・保安林に指定されているか、風致地区に近接しているか、施設整備に当たり用途指定の解除等の必要性を評価した。	7点 農振・保安林の指定、風致地区の近接ともにない。 6点 一部に農振の指定があるが指定面積が少ない。 5点 農振・保安林の指定、風致地区の近接のいずれかがある。 4点 一部に保安林指定があり、風致地区に近接している。 3点 2種類の用途指定がある。 2点 1点 農振・保安林の指定、風致地区の近接ともにある。	
		土地利用の現況	施設整備に当たり新規の大規模な開発により自然環境を損なうおそれがあるか、現況の土地利用から想定される開発を要する土地の割合を評価した。	7点 既に現状の大部分を他用途の利用に供されており、新たな森林伐採の必要が少ない。 6点 現状の10%程度を山林が占めている。 5点 現状の30%程度を山林が占めている。 4点 現状の50%程度を山林が占めている。 3点 現状の70%程度を山林が占めている。 2点 現状の90%程度を山林が占めている。 1点 現状の大部分を山林が占めており、整備に当たり一定の森林伐採が必要。	
経済効率		維持管理、収集運搬にかかる費用	施設の維持管理、収集運搬の費用を評価(稼働年数を仮に30年と想定)した。	「経済効率面による比較評価」を参照 (参考資料-2)	
		施設整備にかかる費用	施設建設、用地買収、電気、上下水道、敷地造成、取付道路の整備に係る費用を評価した。	「経済効率面による比較評価」を参照 (参考資料-2)	3,4,5点の範囲で評価する
		廃棄物処分場があることによる影響	土対法等の制約を受けるおそれがある並びに廃棄物処分場の立地により再処理の必要性が生じることを評価した。	7点 立地していない。 6点 区域の一部に廃棄物処分場が立地している。 5点 比較的広い区域に廃棄物処分場が立地している。 4点 3点 2点 1点	2,4,7点の範囲で評価する
用地取得の難易度		候補地の応募状況	公募により地権者から応募が得られた土地について評価した。	「候補地の応募状況による比較評価」を参照 (参考資料-3)	
		土地の所有者数	用地取得に伴う土地の権利者数を評価した。 ※施設整備に必要な10haあたりの所有者数は、最小で1、最大で54であるため、8人きざみで右記の区分とした。	7点 10haあたりの所有者数が8人以下 6点 10haあたりの所有者数が9～16人 5点 10haあたりの所有者数が17～24人 4点 10haあたりの所有者数が25～32人 3点 10haあたりの所有者数が33～40人 2点 10haあたりの所有者数が41～48人 1点 10haあたりの所有者数が49人以上	

道路交通への影響による比較評価

◆ 主要幹線道路における12時間交通量(自動車類)、並びに混雑度
「平成17年度道路交通センサス(奈良県結果)集計表」より

調査番号	路線名	観測地点	平日12時間交通量(台) (自動車類の合計台数)	混雑度
No. 1	国道24号線	奈良市法華寺町	31,076	1.03
No. 2	国道24号線	奈良市杵町	45,130	1.17
No. 3	国道169号線	奈良市紀寺町	13,829	1.87
No. 4	国道369号線	奈良市二条大路南1丁目	31,522	1.15
No. 5	国道369号線	奈良市登大路町	22,765	0.9
No. 6	国道369号線	奈良市登大路町	14,463	1.56
No. 7	国道369号線	奈良市川上町	7,105	1.02
No. 8	国道369号線	奈良市忍辱山町	2,846	0.44
No. 9	枚方大和郡山線	奈良市中町	11,774	1.4
No. 10	奈良名張線	奈良市能登川町	6,879	0.74
No. 11	奈良名張線	奈良市横田町	4,471	0.72
No. 12	高畑山線	奈良市古市町	7,572	1.19
No. 13	木津横田線	奈良市奈良阪町	11,443	1.36
No. 14	木津横田線	奈良市大安寺町	16,491	2.03

*自動車類の合計台数とは、乗用車、バス、小型貨物車、普通貨物車の交通量の合計。
*混雑度が1.25以上の場所については、数値を網掛けした。

混雑度とは 12時間当たりの交通容量に対する実交通量のことです。

混雑度	交通状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することがなく、円滑に走行できる。 停滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間(ピーク時間)ある。 何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する 可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
1.75以上	慢性的混雑状態を呈する。

◆ 周辺道路における交通混雑の影響について

1) 奈良市環境清美工場及びリサイクル分別場(大安寺町)へ進入している車両台数の実績

- ①平成20年9月30日～10月3日の4日間にかけて環境清美センターに進入・出口通過車両数の調査結果より1日当たり台数を平均1,270台/日とする。
②またリサイクルセンターの建設予定もあることから、1日当たりの台数を120台/日とし、合計で1,390台/日の車両が新しいごみ焼却に進入してくると想定する。
③増加する交通量 1,390台×2(往復)=2,780台

2) 幹線道路における12時間交通量(自動車類)、並びに混雑度【ごみ搬入台数を考慮した場合】

移転候補地に直接影響すると考えられる主要幹線道路について、交通センサスにおける12時間交通量(自動車類)に、新しいごみ焼却施設への進入台数(2,780台)を上乗せし、混雑度の変化を計算する。

調査番号	路線名	候補地区番号	平日12時間交通量 (増加する交通量を含めた台数)	混雑度				評価点	
				現在	評価点	将来	増加率	評価点	計
No.2	国道24号線	⑤-1	47,159	1.17	5	1.22	1.04	7	12
No.6	国道369号線	⑥-1,2、⑧-1,2、⑨-1,2	16,020	1.56	3	1.73	1.1	7	10
No.7	国道369号線	⑥-1,2、⑧-1,2、⑨-1,2	9,885	1.02	6	1.42	1.39	1	7
No.9	枚方大和郡山線	③-4	14,554	1.4	4	1.73	1.23	4	8
No.10	奈良名張線	⑩-1	9,659	0.74	7	1.04	1.4	1	8
No.13	木津横田線	⑥-1,2、⑧-1,2、⑨-1,2	12,666	1.36	4	1.51	1.11	6	10
No.14	木津横田線	⑤-1	17,242	2.03	1	2.12	1.04	7	8

注)・交差点で通過交通が振り分けられる場合には、道路の現在の交通量に応じて比例配分し、
上乗せした交通量により計算する。

・環境清美工場の廃止に伴う交通量の減少台数については、考慮に入れていません。

◆ 比較評価の方法

現在の混雑度及び将来の増加率をそれぞれ7段階評価し、その平均値を評価点とします。
各候補地区で最も評価点が低くなる道路の評価点を採用します。

混雑度(現在)での評価 [7段階評価(相対比率)] 最小で0.74、最大で2.03であることから、0.24きざみで下記の区分とした。	増加率での評価 [7段階評価(相対比率)] 最小で1.04、最大で1.40であることから、0.05きざみで下記の区分とした。
7点 0.80以下	7点 1.10以下
6点 0.81～1.04	6点 1.11～1.15
5点 1.05～1.28	5点 1.16～1.20
4点 1.29～1.52	4点 1.21～1.25
3点 1.53～1.76	3点 1.26～1.30
2点 1.77～2.00	2点 1.31～1.35
1点 2.00以上	1点 1.35以上

経済効率面による比較評価

地区番号	施設整備にかかる費用										維持管理・収集運搬にかかる費用						
	施設建設コスト ごみ焼却施設400トン (50百万円/トン) 破砕処理施設60トン (40百万円/トン)	用地買収コスト 推定土地価格 (10ha当たり) (千円)	敷地造成コスト						合計 (千円)	7段階 評価 (基礎評価点)	維持管理コスト 30年間 15年間で施設整備 費と同等と想定 (千円)	収集運搬コスト			合計 (千円)	7段階 評価 (基礎評価点)	
			インフラ条件			造成コスト						コスト (千円/年)	相対比率	30年間 (千円)			
			電 気	水 道	下水道	敷地造成	取付道路の整 備に要する 工事費	合 計									
			負担金額 (千円)	工事費 (千円)	金額 (千円)	工事費 (10ha当たり) (千円)	工事費 (千円)	(千円)									
③ー4	22,400,000	720,000	3,900	25,080	27,200	2,000,000	780,000 (延長L=480m)	2,836,180	25,956,180	3	44,800,000	1,224,000	1.15	36,720,000	81,520,000	7	
⑤ー1		2,200,000	1,530	0	0	1,500,000	0	1,501,530	26,101,530	3		1,210,000	1.14	36,300,000	81,100,000	7	
⑥ー1		220,000	2,500	35,640	37,500	2,000,000	0	2,075,640	24,695,640	5		1,368,000	1.29	41,040,000	85,840,000	5	
⑥ー2		157,500	2,700	93,720	37,500	2,000,000	0	2,133,920	24,691,420	5		1,411,000	1.33	42,330,000	87,130,000	4	
⑧ー1		180,000	13,000	0	37,500	2,000,000	0	2,050,500	24,630,500	5		1,630,000	1.54	48,900,000	93,700,000	2	
⑧ー2		215,000	14,300	0	37,500	2,000,000	0	2,051,800	24,666,800	5		1,679,000	1.58	50,370,000	95,170,000	1	
⑨ー1		157,500	12,000	0	37,500	2,000,000	0	2,049,500	24,607,000	5		1,563,000	1.47	46,890,000	91,690,000	3	
⑨ー2		150,000	13,000	0	37,500	2,000,000	0	2,050,500	24,600,500	5		1,564,000	1.48	46,920,000	91,720,000	3	
⑩ー1		165,000	22,500	23,100	37,500	2,000,000	71,000 (延長L=80m)	2,154,100	24,719,100	5		1,655,000	1.56	49,650,000	94,450,000	1	
平 均	22,400,000	462,800							2,100,400	24,963,200	5	44,800,000	1,478,200	1.39	44,346,700	89,146,700	4
コスト比 較による 基礎評価 点の整理	[7段階評価(相対比率)] 最小で246億、最大で261億であることから、5億円きざみで下記の区分とした。 7点 251億円以下 6点 251億円～256億円 5点 256億円以上 4点 3点 2点 1点										[7段階評価(相対比率)] 最小で811億、最大で952億であることから、25億円きざみで下記の区分とした。 7点 819億円以下 6点 819億円～844億円 5点 844億円～869億円 4点 869億円～894億円 3点 894億円～919億円 2点 919億円～944億円 1点 944億円以上						

道路交通への影響による比較評価

(参考資料－3)

◆ 主要幹線道路における12時間交通量(自動車類)、並びに混雑度
「令和3年度 一般交通量調査結果」より

調査番号	路線名	観測地点	平日12時間 交通量(台) (自動車類の 合計台数)	混雑度
No.1	国道24号	奈良市栢木町	38,815	1.16
No.2	国道24号	奈良市西九条町4	38,264	1.05
No.3	国道169号	奈良市紀寺町	12,285	1.33
No.4	国道369号	奈良市川上町	4,017	0.51
No.5	国道369号	奈良市登大路町	13,835	1.39
No.6	枚方大和郡山線	奈良市中町	20,247	0.66
No.7	木津横田線	奈良市大安寺町	15,383	0.59
No.8	木津横田線	-	12,407	1.17
No.9	木津横田線	奈良市奈良阪町	7,966	0.98
No.10	天理環状線	-	1,816	2.74
No.11	京終停車場薬師寺線	奈良市南京終町一丁目	3,064	0.50
No.12	奈良笠置線	-	2,730	0.39

※自動車類の合計台数とは、乗用車、バス、小型貨物車、普通貨物車の交通量の合計。

混雑度とは 12時間当たりの交通容量に対する実交通量のことです。

混雑度	交通状況の推定
1.00未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することがなく、円滑に走行できる。 停滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.00～1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間(ピーク時間)ある。 何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。 ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態と考えられる。
1.75以上	慢性的混雑状態を呈する。

◆ 周辺道路における交通混雑の影響について

1) 奈良市環境清美工場及びリサイクル分別場へ進入している車両台数の実績

- ①令和5年度の計量データより、1日当たり台数を平均450台／日とする。
②またリサイクルセンターの建設予定もあることから、1日当たりの台数を130台／日とし、合計で580台／日の車両
が新しいごみ焼却に進入してくると想定する。
③増加する交通量 580台×2(搬入出)=1,160台

2) 幹線道路における12時間交通量(自動車類)、並びに混雑度 [ごみ搬入台数を考慮した場合]

移転候補地に直接影響すると考えられる主要幹線道路について、交通センサスにおける12時間交通量(自動車類)
に、新しいごみ焼却施設への進入台数(1,160台)を上乗せし、混雑度の変化を計算する。

調査番号	路線名	候補地区番号	平日12時間 交通量(台) (増加する交通量 を含めた台数)	混雑度 現在	評価点	将来	増加率	評価点	評価点 計	平均
No.1	国道24号線	候補地2	39,894	1.16	5	1.19	1.03	7	12	6
No.2	国道24号線	候補地3	39,088	1.05	5	1.07	1.02	7	12	6
No.3	国道169号	候補地5	13,445	1.33	5	1.46	1.09	6	11	5
No.4	国道369号	候補地6	5,177	0.51	7	0.66	1.29	4	11	5
No.5	国道369号	候補地6、候補地7	14,566	1.39	4	1.46	1.05	7	11	5
No.6	枚方大和郡山線	候補地1	21,407	0.66	6	0.70	1.06	7	13	6
No.7	木津横田線	候補地3	15,719	0.59	7	0.60	1.02	7	14	7
		候補地4	16,543	0.59	7	0.63	1.08	6	13	6
No.8	木津横田線	候補地4	13,567	1.17	5	1.28	1.09	6	11	5
No.9	木津横田線	候補地6、候補地7	8,395	0.98	6	1.03	1.05	7	13	6
No.10	天理環状線	候補地4	2,976	2.74	1	4.49	1.64	1	2	1
No.11	京終停車場薬師寺線	候補地2	3,145	0.50	7	0.51	1.03	7	14	7
No.12	奈良笠置線	候補地7	3,890	0.39	7	0.56	1.42	3	10	5

注)・交差点で通過交通が振り分けられる場合には、道路の現在の交通量に応じて比例配分し、上乗せした交通量により計算する。

・環境清美工場の廃止に伴う交通量の減少台数については、考慮に入れていません。

・各候補地区番号ごとに採用した評価点の平均を網掛けした。

◆ 比較評価の方法

現在の混雑度及び将来の増加率をそれぞれ7段階評価し、その平均値を評価点とします。

各候補地区で最も評価点が低くなる道路の評価点を採用します。

混雑度(現在)での評価 [7段階評価(相対比率)] 最小で0.39、最大で2.74であることから、0.39きざみで下 記の区分とした。	増加率での評価 [7段階評価(相対比率)] 最小で1.02、最大で1.64であることから、0.10きざみで下 記の区分とした。
7点 0.60未満 6点 0.60～0.99未満 5点 0.99～1.38未満 4点 1.38～1.77未満 3点 1.77～2.16未満 2点 2.16～2.55未満 1点 2.55以上	7点 1.08未満 6点 1.08～1.18未満 5点 1.18～1.28未満 4点 1.28～1.38未満 3点 1.38～1.48未満 2点 1.48～1.58未満 1点 1.58以上

経済効率面による比較評価

(参考資料－４)

		施設整備にかかる費用				維持管理・収集運搬にかかる費用				
地区番号	地区名					維持管理コスト	収集運搬コスト		合計	7段階 評価
						30年間 施設整備基本計画 より算出 (千円)	コスト (千円／年)	相対比率	30年間 (千円)	
						都跡地区	840,000		(千円)	(基礎評価点)
候補地1	大和田町	調査中					991,200	1.18	29,736,000	5
候補地2	七条町						907,200	1.08	27,216,000	7
候補地3	北之庄町						982,800	1.17	29,484,000	5
候補地4	今市町 池田町					42,000,000	1,075,200	1.28	32,256,000	3
候補地5	山町 柴屋町						1,142,400	1.36	34,272,000	1
候補地6	川上町 中ノ川町						1,134,000	1.35	34,020,000	1
候補地7	中ノ川町 東鳴川町						1,150,800	1.37	34,524,000	1
コスト比較に よる基礎評 価点の整理		[3段階評価(相対比率)] 過去の策定委員会と同様の項目に加えて、災害対策に係る費用を加味した施設整備にかかる費用を算出し、各候補地の最大値と最小値から算定した基準値に更新				[7段階評価(相対比率)] 最小で692億円、最大で765億であることから、12億円きざみで下記の区分とした。 7点 699億円未満 6点 699億円以上～711億円未満 5点 711億円以上～723億円未満 4点 723億円以上～735億円未満 3点 735億円以上～747億円未満 2点 747億円以上～759億円未満 1点 759億円以上				